

159その他の金属加工用機械を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	14 ～ 15	加工工場内、ハンドソーでカーボン材（67×600×700）の角取り切断中、素材を押さえながら押す右手から目を離してしまい、鋸刃で右母指第一関節部を負傷した。	44	8	10909	30 ～ 49 人
2	2018	1	20 ～ 21	工場にて、全長カット（プレーナー）作業をしていたとき、鋸刃の進行方向（右）に部材がセットされており、その部材を左手で確認していた。その際、鋸刃と部材との距離が15cmほどしかなく、左手を引っ込めようとしたとき、鋸刃と接触し、切創を負った。	54	8	11109	—
3	2018	1	14 ～ 15	サービスセンター内にて、2段式引き出しロッカーから椅子に乗って書類を取り出そうとしたときに、ロッカーがなかなか開かず力を入れて引いた瞬間に引き出しごとロッカーが抜けて、仰向けに転倒し、背中と腰を強打した。	47	7	11209	50 ～ 99 人
4	2018	1	8 ～ 9	構内にて、商品棚の棚卸し作業を行っていたところ、通路側より棚間にカートを押して進入してきた方が、斜めに進入したため、被災者が死角で見えず接触した事故である。	57	4	11209	1～ 9人
5	2018	1	8 ～ 9	宿舎（ERC4階建て）解体のため、2階内部解体工事中に、内部解体材をベランダからダンプに積み込み作業中、2階ベランダから3.8mの地面に転落した。（転落時を目撃した者がいなく、第一発見者は転落時の音を聞いて振り返って確認したガードマンだった。）	29	7	11502	100 ～ 299 人
			13	工場内にて丸棒を固定し、銅線を巻く作業中丸棒がぶれたので、革				1～

6	2018	2	14	手袋をはめている左手で押さえたとき、銅線の間隙に手袋が挟まって巻き込まれ、左手の示指、中指、環指を負傷した。	44	7	11209	9人
7	2018	2	19 20	パイプ両端面取り機を使用し、ステンレスパイプ面取り作業中、製品の状態を確認するために、機械内部の面取り加工部に手を出し加工中のパイプを受け止めようとした。そのとき、クランプ解除ボタンを押したつもりが、誤って加工処理の起動ボタンを押してしまい、両サイドから回転しないままの状態で押し出された治具に左手を挟まれ負傷した。	41	7	11209	10 ～ 29 人
8	2018	2	16 17	アルミの板をジグソー（のこぎり）で切断中、ジグソーのキックバックにより、支えていた右腕に衝撃が伝わり痛みが生じた。	68	19	80209	1～ 9人
9	2018	2	13 14	鉄筋曲げ機で鉄筋の加工作業中、誤って左手が鉄筋曲げ機のローラーに巻き込まれ指を詰め、左手親指を負傷した。	42	7	11209	1～ 9人
10	2018	2	14 15	バンドソーで鋼材切断作業中、歯が鋼材に引っ掛かり運転が止まったので、電源を切らずに歯と鋼材を離れたところ、バンドソーが再稼働し歯が右手の平、第2指から第5指に掛けて入り裂傷を負った。	21	7	30302	1～ 9人
11	2018	2	23 24	アルミ板の切断作業中、端材を取ろうと機械を停止させたが、完全に停止する前にクランプ内に手を入れたため、惰性回転中の鋸刃に右手第二指が接触し、第一関節を裂傷と骨折した。	31	7	170101	30 ～ 49 人
12	2018	2	15 16	ファイルの組立作業場で、カシメ機にセットしたホックが斜めになったので、指を入れてホックを直そうとした際に、誤ってフットペダルを踏んでしまい、金型部分に指を挟まれた。	20	7	10602	100 ～ 299 人
13	2018	2	13	部品の動作確認中、型の駆動中に型と型の隙間に手を差し込んでしまい、型と型のガイドバーの間に右脇腹付近が挟まれ巻き込まれ	32	7	11502	50 ～ 99

			14	た。					人
14	2018	3	12 ～ 13	本社工場にて機械加工中にポット（機械取り付け部品）を機械内の取り付け部分から外そうとした際に足元が滑り、体のバランスが崩れ左手で押さえていたポットが落下し、落とすのを防ごうとして手を出してしまい、落下したポットと機械テーブル部品との間に左手小指を挟まれ切り傷を負った。	31	4	170101	300 ～ 499	人
15	2018	3	8 ～ 9	工場内で鉄線の伸線作業をしていた。伸線機のドラムに線材を巻きつける際、ズレを修正していたところ、右手示指と中指を負傷してしまった。	30	8	11209	30 ～ 49	人
16	2018	3	16 ～ 17	2人作業で生産ロールのロールふきとり作業を行っていた。1人が可動ボタンでロールを回転させ事故当事者がウエスでロールをふいていたが、ふきとり中にロールに右手が巻きこまれてしまった。	21	7	11209	100 ～ 299	人
17	2018	3	9 ～ 10	アルミ切断機でアルミバー材を切断中に、アルミバー材を動かぬようにストッパーで固定して切断する際に、ストッパー位置の固定があまく切断中にバー材が動いたため、バー材を動かぬように手でおさえたとき、切断の刃に触れてしまい中指上部第一関節より指を切断した。	64	8	80109	1～ 9人	
18	2018	3	17 ～ 18	工場内でH型鋼H600×200、長さ750cmの開先部分を作業台高さ50cm位の上で手動サンダーでバリを削っていたときに、端を削っていたのでサンダーがH鋼材の端から外れ、そばにあった左ひざに当たり切って負傷してしまった。	26	8	11209	—	
19	2018	3	9 ～ 10	金属加工工場内のマシニングセンタへ加工のため、1本4kgほどの棒状の金属部品を2本並べて治具へ取り付けの際に、右へ設置した部品から先に固定をしていたところ、左に設置した部品が治具ベースから落下し左足の安全靴先芯より上方に当たったため、左足小指を	51	4	170101	50 ～ 99	人

				骨折した。				
20	2018	3	9 ～ 10	事業所にて鉄骨をサンダーにて切断中、はね上がりの反動で左手の親指と人差し指の間を切る。	29	8	30209	1～ 9人
21	2018	3	3 ～ 4	被災者はねじ転造機でねじ加工を担当している。被災者は金型をセットしたのち、糸加工品を投入し、機械が正常に移動するか確認していた。確認（稼働）中、製品が押し板と金型面に対して傾斜して入ったため詰まり、正常に潰れなくなったので機械を停止（電源を切る）して、詰まった製品を取り除こうとした。そのため、機械へ右手を入れて製品を下から人差し指で押し上げた。それにより押し板を停止させていたが一部解除され、前に押し板が移動し、金型面と押し板との間に右手人差し指の先が挟まれて被災した。	28	7	11202	300 ～ 499 人
22	2018	4	9 ～ 10	鋼管第1工場で作管機稼働中、被災者は梱包作業をしていた。オペレーターから溶着状態が悪くなってきたと聞いたので、オペレーターとともに原因調査を開始し、内面ガス管が折損しているのを発見したので、オペレーターの応急処置をサポートしようと、F5ロール通過中のパイプの隙間から手を入れて押さえた。その際にパイプのエッジに軍手が引っ掛かり、進行方向の両サイドガイドロール上部の隙間に右手が巻き込まれて受傷した。	31	7	11509	10 ～ 29 人
23	2018	4	8 ～ 9	解体工事のコンクリートスラブを解体中に鉄筋カッターで鉄筋を切っている途中に、鉄筋が固く本体がコンクリートスラブの方へ動いた。そのときに所定の位置で鉄筋カッターを持っていなかったため左手親指が挟まった。	44	7	30202	1～ 9人
24	2018	4	14 ～ 15	工場内の自動製鎖機で不具合が生じたため、機械動作を寸動で確認中、動いているのにうっかり機械のギアに指を入れ負傷した。	60	7	11209	10 ～ 29 人

25	2018	5	13 ～ 14	円径曲機で試運転し、角度を出そうとしたとき、回転部分に皮手袋が巻き込まれ機械に指を挟み受傷した。	62	7	11209	1～ 9人
26	2018	5	9 ～ 10	墓地造成工事中、鉄筋カッターで鉄筋切断時、左手小指を巻き込まれ負傷した。	46	8	30309	10 ～ 29 人
27	2018	5	15 ～ 16	火力発電所、ボイラー建屋内天井ハウジング内で吊棒（φ90×7.2m、370kg）の設定作業中、吊棒が落下し、下部にいた被災者の右下肢に当たり受傷した。	21	7	11203	50 ～ 99 人
28	2018	5	16 ～ 17	工場スリッターラインで、リコイラー側面に立ちコイルの巻き取り状態を確認作業中、同僚に確認部分を指し示そうとしたところ、動いているリコイラー側面に左手を触れてしまい皮手袋ごとコイルに持っていかれ、セパレーターとの間に挟まれ負傷した。	60	7	11209	10 ～ 29 人
29	2018	5	10 ～ 11	加工工場ですり割り機を使用し溝付加工の段取り調整の作業中、機械の電源を入れたまま行っていたため、装着していた軍手が刃に巻き込まれ左手小指に切り傷を負い、左前腕を受傷した。	39	7	11209	50 ～ 99 人
30	2018	5	9 ～ 10	工場で鋼材をパンチャーで穴開け作業中、ガイドと鋼材の間に右手指差し指を挟まれる。	39	7	11009	10 ～ 29 人
31	2018	5	9 ～ 10	家屋解体工事現場で鉄のベランダ切断作業中、サンダーの刃が右手に当たり右手指を切り傷を負傷した。	40	8	30209	1～ 9人
			16	加工センターにて大型鉄而切断機を使用して、鉄筋の切断作業中、				10 ～

32	2018	5	17	鉄筋切断機と鉄筋材に左手薬指を挟みケガをした。	29	7	11209	29	人
33	2018	6	13 14	工場でベンダーを使用して鉄板メッキ加工材（縦60cm×横130cm×厚さ1.5m）を、軍手をはめた両手で持ちながら折り曲げ加工中に、左手親指が滑り、下りてきたベンダー上型と下型の間に左手親指を挟んだ。	34	7	11209	30 ～ 49	人
34	2018	6	9 10	工場で、アングルに穴をあける機械でメッキアングル（L4×50）に、ボルト穴をあける際、穴の型を変更しようと矢印まで左手を移動したとき、誤って右足下にある始動ペダルを踏んでしまい、左手人差し指を挟んだ。	36	7	11209	10 ～ 29	人
35	2018	6	14 15	工場でマシニング機を使用中、品物の押さえ金具を移動させる際、刃物（ラフィング）に軍手が引っ掛かり、そのまま引っ張られて親指の靭帯を断裂した。	37	7	11009	1～ 9人	
36	2018	6	17 18	工場内で機械を使って作業中、誤って機械のハンドルに左手が引っ掛かり、半分に切ったドラム缶（材料入れ）の上に転倒し、左手と右足を負傷した。	64	19	11301	1～ 9人	
37	2018	7	14 15	アルミ材の加工作業のため、材料を切断していた際に、破片が跳ねてしまい、右手人差し指を直撃し負傷した。	41	8	11209	1～ 9人	
38	2018	7	8 9	機械中央の奥に引っ掛かったガンバリウム銅板を外すため、機械に左手を入れたところ、手が機械から離れたのを確認しないで、相手方がスイッチを入れたため、機械に挟まり負傷した、その際、挟まった左手を引き抜こうと、右手で左手を引っ張り、右手指も負傷した。	51	7	30309	1～ 9人	
39	2018	7	9 10	工場内で角度切断機を使って、アルミ型材の止め切り作業中、型材が切断機に引っ張られ左指が機械に巻き込まれ切ったものである。	32	7	11203	10 ～ 29	

									人
40	2018	7	11 ~ 12	ディーゼルエンジンの燃料噴射管の曲げ加工作業を行っていた。 一旦停止した機械装置からセットしてあるパイプを取り外そうとした際、始動ボタンを1度押したつもりが2度押しになってしまい、装置が次の原点に戻る動作に入り、装置のアームに右手を挟み負傷した。	46	7	11502	30 ~ 49	人
41	2018	7	13 ~ 14	製品をメンテナンスするため、工具を使って切断していたところ、滑って弾かれてしまい、回転し続ける工具が作業ズボンを巻き込み、右大腿部に広範囲に亘って挫創を負った。	57	8	11301	50 ~ 99	人
42	2018	7	18 ~ 19	切断位置を確認するため、ビット内の鋼塊に上り、降りる際に足を滑らせ転落し、ビット内の熱湯で両足を火傷した。	40	11	11001	—	
43	2018	7	9 ~ 10	曲げ生産機にて曲げ加工準備のため、滑り止めペーパーをパイプに当てセットする際、ライナーストッパーとパイプの間に指を挟み、右手薬指を骨折した。	35	7	11209	10 ~ 29	人
44	2018	8	16 ~ 17	工場内に設置されているローラーで、8本の鉄線を同時に押さえながら巻いていたところ、誤って手袋がローラーに挟まってしまい、その際に左手人差し指を切ってしまった。	38	7	11209	10 ~ 29	人
45	2018	8	11 ~ 12	加工機を用いて鉄筋を加工・切断する作業を行っていた際、ハンドルを操作され、親指を挟まれ、負傷した。	43	7	30202	10 ~ 29	人
46	2018	8	11 ~ 12	プラスチック板を昇降盤にて裁断作業中、無意識にスイッチを切らず、裁断し終えたプラスチック板製品を左手で取ろうとして、鋸刃に触れて左手親指内側指先を切断した。	74	8	11409	1~ 9人	

47	2018	8	18 ～ 19	切断機の前でアルミ板を切断機作業台に載せるときに、安全カバーが上がっているにもかかわらず、鋸刃が回転しており気付かずに作業を進めたため、右手薬指第一関節下部分に鋸刃が接触し、負傷した。	30	8	11209	30 ～ 49 人
48	2018	8	3 ～ 4	定置スポット溶接機を使用してプレートにボルトを溶接する作業中、部品セットと同時に起動ボタンを押してしまい、右手親指を溶接機に挟まれ負傷した。	50	7	170101	50 ～ 99 人
49	2018	8	11 ～ 12	アルミ型材の切断作業時に端材を避けようと左手を出した際、誤ってフットスイッチを踏んでしまい、バイスとノコ刃が作動してしまい、非常停止ボタンで止めるものの間に合わずに、左手首を負傷した。	64	8	11209	10 ～ 29 人
50	2018	8	9 ～ 10	階段撤去工事において、鉄製の階段をサンダーで切断中、誤ってサンダーの刃が左足甲に触れ負傷した。	38	8	30201	10 ～ 29 人
51	2018	9	16 ～ 17	自動メッキ機に製品を入れるカゴの中の残品確認をしていた際、カゴが動かなくなったため手で押して動かそうとしたところ、急に機械が動き出し右手拇指、示指、中指を機械に挟んだ。	36	7	11204	10 ～ 29 人
52	2018	9	11 ～ 12	工場内にてフープカッター使用時、上下に可動する刃の手前にある板押さえのネジが緩んだため、押さえようと手を出してしまい、右手の人差し指を挟んだ。	68	7	11209	30 ～ 49 人
53	2018	9	12 ～ 13	人孔土部と斜壁取替と、マス・取付管撤去新設工事中、マス設置の作業中に宅地内裏管を表管からの水を土のう袋で止めて作業していたところ、土のう袋が水圧に押され使用していたサンダーで左手首	67	8	30106	1～ 9人

				に怪我をした。				
54	2018	9	9 ～ 10	作業場で鉄製の窓枠のようなものをサンダーを使用して切断作業中、サンダーの刃が破損し、破片が口と鼻の間に当たって深く切れて負傷した。	71	4	150102	50 ～ 99 人
55	2018	9	11 ～ 12	新築工事で、消雪パイプの巻立コンクリートを解体するため、巻立コンクリートに左足を乗せエンジンカッターで鉄筋を切断する作業中、最後の鉄筋が切れた反動でコンクリートが下がり、バランスを崩して手に持っていたエンジンカッターが左足太腿部に接触して切創を負った。	54	8	30201	10 ～ 29 人
56	2018	9	8 ～ 9	工場内にて左右曲げロータリーベンダー段取中、ロータリー曲げ治具を取り付けようとしたが、セットしにくかったため、ロータリーサブロールの位置を調整していた。そのとき、右手で原点切り替えレバーを誤って動かしてしまい、ロータリーサブロールが始動して左人差し指先端を挟まれ裂傷・骨折を負った。	58	7	11502	30 ～ 49 人
57	2018	9	3 ～ 4	製品を切断中、切り残しを切断しようと製品を裏返したところ、安定せずに、製品に当てていた刃が滑って、その勢いで左手指に当たって負傷した。	30	8	11709	100 ～ 299 人
58	2018	9	16 ～ 17	営業所内作業場の定盤の上で、薄物鉄板をチップソーで切断中、鉄板に刃が引っ掛かりチップソーが自分の方に押し戻され、右太腿内側に裂傷を負った。	41	8	11701	10 ～ 29 人
59	2018	9	9 ～ 10	車両の車体修理をしていたところ、使用していた切断機が誤って当たってしまい、左指を負傷した。	46	8	80202	1～ 9人
			12	人孔土部と斜壁取替と、マス・取付管撤去新設工事中、マス設置の作業中に宅地内裏管を表管からの水を土のう袋で止めて作業してい				1～

60	2018	9	～ 13	たところ、土のう袋が水圧に押され使用していたサンダーで左手首に怪我をした。	67	8	30106	9人
61	2018	9	9 ～ 10	現場にてシャーレンチの一次締使用時、ボルトナットを締めるときに体勢が崩れてしまい、利き手ではない方の手でスイッチを押してしまったので、右手小指を挟んで負傷した。	38	7	30201	1～ 9人
62	2018	9	9 ～ 10	場内でH型鋼材切断中、スケールを戻そうと手を伸ばしたところ、バンドソーの切断刀に手が当たり、巻き込まれて左手中指、薬指を切断した。	43	8	11209	1～ 9人
63	2018	9	16 ～ 17	工場内で、サンダー（工具）で部品を削っていたとき、誤って左手の親指の付け根にサンダーが当たり切ってしまった。	24	8	11209	1～ 9人
64	2018	9	3 ～ 4	製品を切断中、切り残しを切断しようと製品を裏返したところ、安定せずに、製品に当てていた刃が滑って、その勢いで左手指に当たって負傷した。	30	8	11709	100 ～ 299 人
65	2018	9	16 ～ 17	営業所内作業場の定盤の上で、薄物鉄板をチップソーで切断中、鉄板に刃が引っ掛かりチップソーが自分の方に押し戻され、右太腿内側に裂傷を負った。	41	8	11701	10 ～ 29 人
66	2018	9	13 ～ 14	ケースコンベアの上部カバーをベビーサンダーで切断作業中、ベビーサンダーに弾かれて左頬に裂傷を負った。	48	8	11301	10 ～ 29 人
67	2018	9	14 ～ 15	事業場内にて建築用鉄筋の曲げ作業中、鉄筋自動曲げ機に加工する鉄筋をセットし、安定させるため右側の曲げ機に端を乗せ右手で押さえて固定し、フットスイッチを踏んだ。その際、作動スイッチの設定ミスにより右側の曲げ機も作動したため、右手を引いたが間	27	7	11209	30 ～ 49 人

				に合わず、右手小指を挟まれて圧迫骨折を負った。				
68	2018	9	9 ～ 10	現場にてシャーレンチの一次締使用時、ボルトナットを締めるときに体勢が崩れてしまい、利き手ではない方の手でスイッチを押してしまったので、右手小指を挟んで負傷した。	38	7	30201	1～ 9人
69	2018	9	9 ～ 10	場内でH型鋼材切断中、スケールを戻そうと手を伸ばしたところ、バンドソーの切断刀に手が当たり、巻き込まれて左手中指、薬指を切断した。	43	8	11209	1～ 9人
70	2018	9	16 ～ 17	マシニングセンターの修理作業を行っていた際、ATC（自動工具交換装置）を調整後、ランニングで問題がなかったため機械を停止させて工具を抜こうとしたところ、まだ機械が停止しておらず、アームと工具の間に左手を挟んで負傷した。	59	7	11301	300 ～ 499 人
71	2018	9	3 ～ 4	製品を切断する際、切り残しが発生したので再切断しようと製品を裏返したところ不安定な状態となり、製品に当たっていた刃が切り口より外れて、その勢いで製品を押さえていた左手指に当たって負傷した。	30	8	11502	500 ～ 999 人
72	2018	9	16 ～ 17	鑄造作業が終了し、鑄造機に付帯している装置を停止させて金型と付着したバリを除去するため、金型上部の油圧シリンダーに左手を添えた。鑄造機本体の主電源を切り忘れていたため油圧シリンダーが自動で動きだし、油圧シリンダーと金型の隙間に指を挟んで負傷した。	34	7	11301	100 ～ 299 人
73	2018	9	13 ～ 14	ケースコンベアの上部カバーをベビーサンダーで切断作業中、ベビーサンダーに弾かれて左頬に裂傷を負った。	48	8	11301	10 ～ 29 人
74	2018	9	11 ～ 12	工場内にてフープカッター使用時、上下に可動する刃の手前にある板押さえのネジが緩んだため、押さえようと手を出してしまい、右手の人差し指を挟んだ。	68	7	11209	30 ～ 49 人

75	2018	9	9 ～ 10	工場内で、コンクリート型枠に使用する部品をつくるため、高速 カッターで鉄板を切って作業していた際、手が滑って右手人差し指 が高速カッターに触れて負傷した。	66	8	10901	1～ 9人
76	2018	9	9 ～ 10	工場内で打抜機の作業中、機械の内側にある調整ダイヤルを操作す るため、スロー運転で機械が回転中に機械を止めずに防護カバーの 隙間から手を入れてしまい、紙製品を挟むための爪が右手甲に接触 して負傷した。	19	8	10701	100 ～ 299 人
77	2018	9	16 ～ 17	マシニングセンターの修理作業を行っていた際、ATC（自動工具交 換装置）を調整後、ランニングで問題がなかったため機械を停止さ せて工具を抜こうとしたところ、まだ機械が停止しておらず、アームと工具の間に左手を挟んで負傷した。	59	7	11301	300 ～ 499 人
78	2018	9	3 ～ 4	製品を切断する際、切り残しが発生したので再切断しようと製品を 裏返したところ不安定な状態となり、製品に当たっていた刃が切り 口より外れて、その勢いで製品を押さえていた左手指に当たって負 傷した。	30	8	11502	500 ～ 999 人
79	2018	9	8 ～ 9	鋳造の立ち上げ時、金型冷却用パイプに冷却ホースを取り付けたと ころ、冷却水出口パイプから熱湯が出て左手に掛かり、火傷を負っ た。	28	11	11102	100 ～ 299 人
80	2018	10	11 ～ 12	模様替え工事中、2階トイレ前の廊下でアルミ建具材を加工してい たとき、材料を持っていた左手が高速カッターに巻き込まれ、左手 親指を切断した。	24	8	30203	10 ～ 29 人
81	2018	10	10 ～ 11	パイプの面取り加工中、機械に絡まった切削粉を取り除く際に器具 を使用せず、軍手をはめた右手で直接引っ張ってしまい、右手人差 し指に切創を負った。	65	8	11209	10 ～ 29 人

82	2018	10	9 ～ 10	ベンダー曲げ工程で、左手で丸棒を持ってチャック部へセットした際、位置が悪かったため調整して起動ボタンを押したところ、左手がクランプに挟まれた。	22	7	11209	100 ～ 299 人
83	2018	10	14 ～ 15	自動切断機で、ねじ切断作業の準備をしていた。専用治具で長さを設定し、確認のため1本目を切断したところ、専用治具が送りロールから外れた。その際、直そうとして専用治具の取っ手を掴んだところ、切断機カバーと取っ手の間に左手人差し指を挟まれた。	27	7	11209	100 ～ 299 人
84	2018	10	10 ～ 11	工場製造ラインで製管中、上下の平行ロールで異音が発生したため、安全柵を開けて確認していた。その際、不用意に材料コイルに触れてしまい、平行ロールにゴム手袋が巻き込まれて右手を負傷した。	24	7	11101	50 ～ 99 人
85	2018	11	10 ～ 11	工場内でタッピング作業中、本来は素手で行うが、軍手を着用していたため、軍手がタップに巻き付いて指を負傷した。	72	7	11203	10 ～ 29 人
86	2018	11	13 ～ 14	自動打抜機に抜型を設置して回転する際、回転物と打抜機本体に左手を挟まれて負傷した。	28	7	10701	10 ～ 29 人
87	2018	11	10 ～ 11	被災者が組み立て工程で鉄シュー取り付け準備をしていたとき、別作業者がポジションナーのボタンを押してリフターを上げようとした。別作業者が被災者に退避するよう注意をしたが、意思疎通がうまくいかなかった。別作業者がポジションナーを止めようとして非常停止ボタンを押そうとしたが、誤って別設備の停止ボタンを押してしまい、被災者の左足がポジションナーに巻き込まれた。	19	7	11301	100 ～ 299 人
				従業員3人でステンレス製板金の曲げ加工を行っていた。製品				50

88	2018	11	15 ～ 16	(2700mm×1020mm×1.0mm、約10kg)を曲げる際、3人の呼吸が合わないままフットレバーを操作し、被災者がクランプに右手首を挟んだ。	42	7	170101	～ 99 人
89	2018	11	3 ～ 4	成形作業中、チャッキング動作前に製品が垂れ落ちた状態になり、チャックミスを防ぐため製品を整えようとした。被災者が左手を金型へ伸ばしたところ、チャック板が下降し、金型とチャック板に挟まれて火傷を負った。	53	7	170101	300 ～ 499 人
90	2018	11	10 ～ 11	ステンレスカウンター生産ラインで、クランプを順次開放し、左手で4番目クランプを持ち上げようとしたとき、3番目クランプのダンパー2本のうち1本が外れてクランプが落下し、左手中指を挟んだ。	22	7	11209	10 ～ 29 人
91	2018	11	10 ～ 11	工具（ギロチン）の保護カバーの開き戸を開け、蝶番部分に左手を添えて外部の状況を確認していたところ、鉄くずが当たって扉が閉まり、左手親指を挟んだ。	49	7	11009	10 ～ 29 人
92	2018	11	10 ～ 11	加工場で自動手押し機を使って材料を削っていたとき、刃が回っている状態で刃物に手を突っ込み、左手薬指の先端10mmほどを切断した。	70	8	30199	1～ 9人
93	2018	12	9 ～ 10	当社工場内にて、製品に鉄粉を照射する装置を使用していた。作業中に鉄粉をon/offするバルブの動きが悪いと感じ、バルブを確認するため、たまたま右中指を入れたところで、突然バルブが動き出し、挟まれて挫創を負った。	64	7	11209	30 ～ 49 人
94	2018	12	9 ～ 10	加工場で、アングル加工機（油圧切断機）にてアングル（鉄、型鋼材）の切断作業中に、油圧作動部に誤って右手を掛けた状態で切断機を作動させた。右手薬指と中指を挟み、挫創と骨折を負った。	64	7	11209	1～ 9人
95	2018	12	13 ～	配管材料を専用切断機で切断中誤って（切断機が管材をはじいて）手首を負傷した。	64	8	30199	1～ 9人

			14					
96	2018	12	15 ～ 16	当社の配管工設備を担当する被災者は災害当日、個人宅の雨水枡を設置する際、ドリルドライバーにホールソーを装置し、雨水枡に排水パイプの穴を穿孔してる際、被災者がドリルドライバーの操作を誤り、右手を負傷し、骨折した。	64	7	30309	1～ 9人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。